

# 第2回北陸インフラメンテナンスフォーラム

○開催日時 平成31年2月12日（火）13:30～16:00 ○開催概要 第一部 橋梁点検を効率化する技術セミナー（※近接目視に代わるものではない）  
 ○開催場所 国土交通省 金沢河川国道事務所 橋梁点検の現状と今後 北陸地方整備局道路部道路保全企画官 舘 敏幸  
 ○参加 90名 タブレット端末利用の地方自治体向け橋梁概略点検システム 長岡工業高等専門学校 教授 井林 康 氏  
 国・地方自治体：33名 UAV・ラジコンボートを活用した目視点検の補足技術 金沢工業大学 教授 徳永 光晴 氏  
 民間企業等：52名 コーディネーター 金沢工業大学 教授 宮里 心一 氏  
 大学等機関：5名 第二部 橋梁点検効率化技術ニーズの深掘りとシーズの種まき  
 パネリスト（第1部技術セミナー講演者）、フォーラム参加者  
 コーディネーター 金沢工業大学 教授 宮里 心一 氏  
 講評 金沢大学 特任教授 鳥居 和之 氏

## ○橋梁点検効率化技術ニーズの深掘りとシーズの種まき（ピッチイベント）

### ■タブレット端末利用の地方自治体向け橋梁概略点検システム

【開発者】長岡高専 井林教授  
 目視点検で判断し、現場撮影記録する野帳に代わる小規模橋梁を対象としたツール。点検作業のコスト縮減がネライ。

【参加自治体】  
 2m～5m未満の橋梁は、職員が点検しており、タブレット端末橋梁点検システムにとっても興味がある。

【参加企業】  
 タブレット端末橋梁点検システムの利用にあたり、改善があるならば、「産」の立場からも協力していきたいと思う。

### ■UAV/ラジコンボートを活用した目視点検の補足技術

【開発者】金沢工業大 徳永教授  
 UAV・ラジコンボートを活用した技術は、点検に入る前の下調査や点検計画を立案する目的で非常に有用な技術だと考えている。

【参加自治体】  
 自治体管理の橋梁は、橋長が短かく高さも低い施設が多く、用水期には、点検が困難な環境が多い。技術の適用に期待が大きい。

【参加企業】  
 実際にコンサルが使う場合の稼働時間や稼働条件を確認したい。

【技術マッチングに向けた問題提起（コーディネータ 金沢工業大学 宮里教授）】  
 ・メンテナンス技術は、ロボット技術と診断する医者（技術者）の車の両輪で進めることが必要。

金沢大学 鳥居特任教授  
 インフラメンテナンスのプロフェッショナルとして自覚・覚悟を持ち継続して取り組んでいくことが大事。

金沢工業大学 宮里教授  
 フォーラムの取り組みを継続し、自治体で悩んでいることと民間技術を共有。マッチングにつなげることができればと思っている。

富山市 植野建設技術統括監  
 本フォーラムでは、産官学連携した共通のフィールドでの点検だけでなく、補修方法など総合的に勉強し、人材育成にもつなげることが必要。

